

北陸の産業競争力の 強化に向けた課題

平成25年12月2日



北陸の特徴を活かした経済戦略

力強い「北陸経済圏」の形成

日本全体の「人と国土の強靱化」のため、北陸を強化し、日本の各地域のモデルエリアとなる。

北陸の特徴

地力がある地域「北陸」

○地政学的条件に起因する類似性と個性

- ・東西300kmに満たないコンパクトにまとまった地域
- ・同じ日本海側に位置し気候が類似。里地里山など自然も豊か
- ・老舗や特色あるものづくり企業が多く、各県それぞれ個性がある。
- ・生活の質が高い(三世帯同居、広い住宅、高い貯蓄率、教育や医療サービスなど子育て環境も充実)



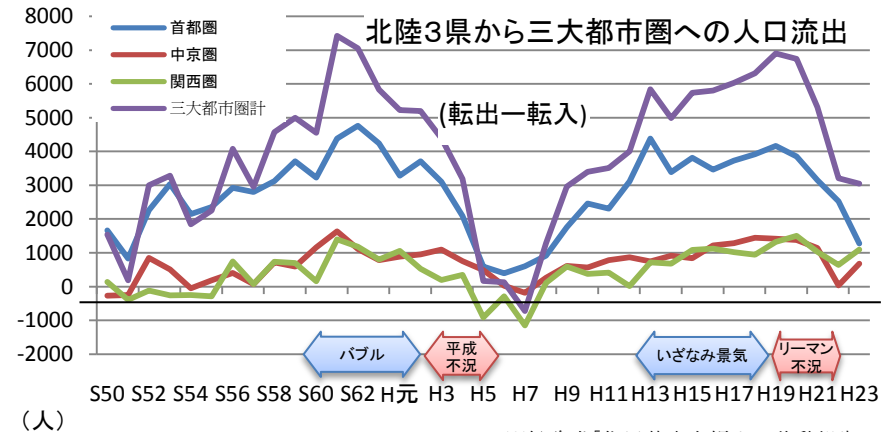
幸福度総合ランキング 上位3県を北陸が独占

※ 坂本光司・幸福度指数研究所「日本でいちばん幸せな県民」

○地域の独立性と開放性

- ・三大都市圏から300km圏内に位置するが、隣接せず、地域として独立性を保つ。
- ・環日本海沿岸に位置し、対外的に開かれている。

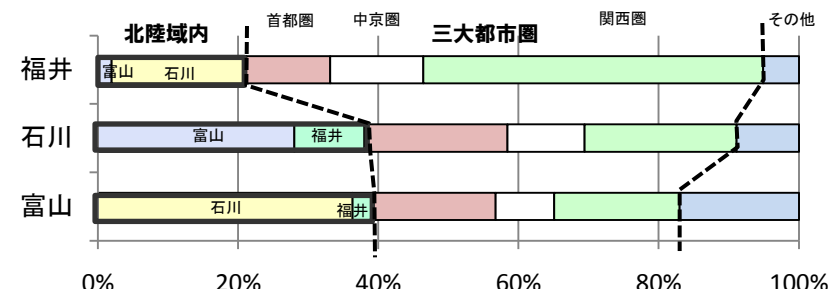
好景気時に北陸から三大都市圏へ毎年5～7千人流出
国の成長戦略で、都会の景気回復により流出が加速するおそれ



都市圏との交流は一定程度あるが、域内の往来については伸ばす余地あり

旅客移動状況(各県の県外への旅行先)

国土交通省「旅客地域流動調査」



課題①: 国土の強靱化

○太平洋側で想定される大震災のリスク分散、均衡ある国土の発展などの点から、日本海側におけるインフラ網の整備が必要

- ・北陸新幹線の敦賀-金沢間の大幅な工期短縮と大阪までのフル規格による早期全線整備
- ・日本海側のLNGインフラの整備増強
- ・北陸三県の港湾連携の強化 等

＜北陸新幹線の整備計画＞

工法・工程の見直しにより、敦賀開業は3年前倒し可能

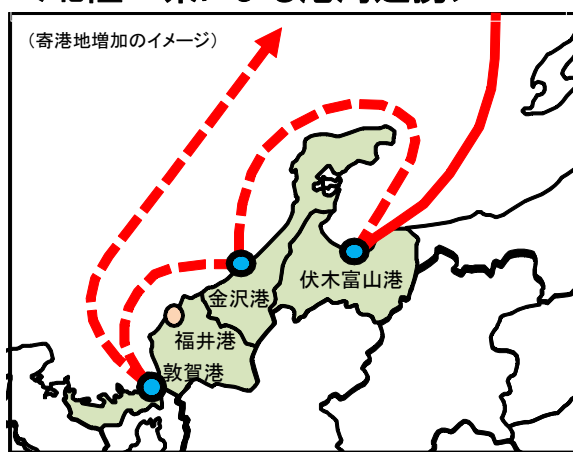
**敦賀開業により北陸3県に
年間800億円の経済効果**



＜ガスパイプラインの整備状況＞



＜北陸三県による港湾連携＞



課題②: 人と企業の強靱化

- 人と企業が過度に集中している大都市圏から子育て環境が良い地方へ人と企業を分散
- 長寿企業やニッチトップ企業の若者のU・Iターンなどの呼び戻しによる人材確保支援
- 新たな分野で北陸の技を大企業に売り込む

安倍政権が掲げるキーワードの一つに「新陳代謝」があるが、環境変化に対応し、生き残ってきた「長寿企業」やニッチトップといわれる企業が北陸には多数あり

<長寿企業(業歴100年超の企業)を多数輩出>

	長寿企業(老舗)	輩出率	順位
福井県	457	3.14%	6位
富山県	454	2.89%	8位
石川県	383	2.48%	14位

※「輩出率」
長寿企業数
÷全企業数

※帝国データバンク調べ

<国内外で活躍するニッチトップ企業>

(福井県 世界シェアNo.1が14社、国内シェアNo.1が52社)

カーシート用生地
国内シェア1位



ナノ(10万分のミリレベル)
のめっき技術



警察・消防署の紋章
国内シェア1位

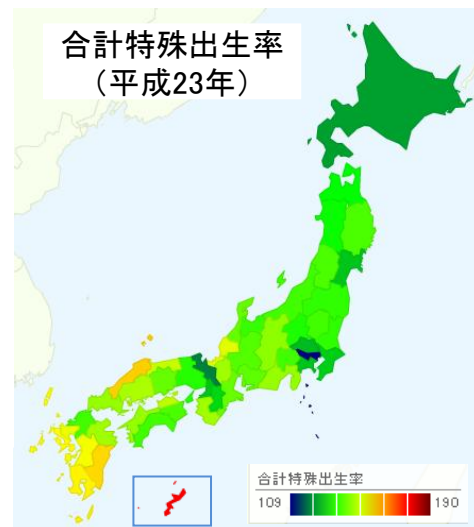


カーブミラー国内シェア1位



○人と企業の分散

- ・東京に上場企業の約5割が集中
- ・しかし、東京の出生率は突出して低い。
- ・都市部から学力や出生率も高い地方に企業を分散させ、人と企業の強靱化を図る必要あり



○新たな分野への展開

①炭素繊維

東京大やトヨタ・東レなど25団体が連携した、炭素繊維を使った次世代自動車開発のための国の大型研究プロジェクトに、福井県(工業技術センター)が自治体として参画

②医療産業

陽子線がん治療センターの利用 新たなシステムも導入予定

- ・複雑な形のがんに高精度で照射できる世界初のシステム
- ・CT画像を利用して照射位置を決める日本初のシステム



福井県立病院陽子線がん治療センター

課題③: 伝統工芸・食の新展開

○和食が世界の無形文化遺産に登録見込みなど、世界で日本の文化・伝統工芸などの関心が高まる中で、北陸が誇る「伝統的工芸品」と「和食」を融合。北陸三県の連携を強めて国内外へ売り込み

- ・伝統的工芸品と和食をセットにした宣伝
- ・伝統工芸の産地間での人材交流、共同での人材育成
- ・大都市や海外に売り込む商談会やマッチングの共同実施 等

＜主な伝統的工芸品の全国シェア＞

伝統的工芸品	北陸全体の生産額	全国シェア	代表的な産地
和 紙	32億円	60.8%	越前和紙(福井)【全国1位】 越中和紙(富山)【全国5位】
漆 器	201億円	50.0%	山中漆器(石川)【全国1位】 越前漆器(福井)【全国3位】 輪島塗(石川)【全国5位】 高岡漆器(富山)【全国10位】
焼 物	48億円	5.5%	九谷焼(石川)【全国5位】 越前焼 (※)(福井)【全国25位】 (※ 日本六古窯の一つ)

※福井県独自集計 【 】内の全国順位は生産額ベース

越前和紙や山中漆器は**全国一**の生産額。そのほかにも全国有数の産地

＜北陸には多様な伝統的工芸品がある＞

	伝統的工芸品数	人口100万人あたり	全国順位
福井県	7	8.76	2位
石川県	10	8.60	3位
富山県	5	4.62	8位

※人口当たりでみると、北陸3県の伝統的工芸品数は全国トップクラス

※新たに指定される見込みの越前筆筒を含む
伝統の技を生かした新商品も続々商品化
(仏料理コンクールで審査員が絶賛)

テーブルナイフ(越前打刃物)



○伝統的工芸品と和食をセットで売り込み

和紙や漆器、焼物などの伝統的工芸品と北陸の和食を組み合わせて国内外へアピール



(あわら温泉 美松HPより)



○職人の人材交流による新たな発想

三県の伝統工芸や和食の関係者など職人同士の交流、共同の人材育成などにより、新しいモノを創り出す



互いに受け継がれた伝統の技を結集

越前塗山車
(越前漆器協同組合と井波彫刻協同組合の
コラボ)

課題④：地域交流の促進・全国や海外からの誘客の強化

- 北陸新幹線の金沢開業や東京五輪の開催を契機に、広域観光ルートの実質化、個々の観光資源の魅力アップ、スポーツ・文化関連イベントの実質化
- ・三県共同での誘客キャンペーンの強化 等

三県の観光資源は誘客のポテンシャルがある

新幹線開業による増客に加え、更なる上積み余地

地域資源を活かし、北陸に誘客



スポーツ・文化イベントによる誘客

マラソンやツーリング大会等のイベントを県境を越えて開催

イベントの後は、観光地巡りや温泉に宿泊



越前加賀アースライド

「恐竜王国」ブランドで北陸の誘客

国内初 “野外恐竜博物館”

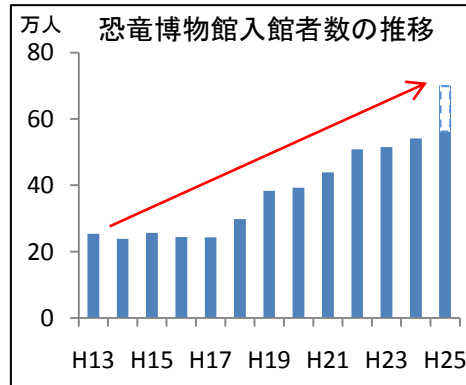
恐竜化石発掘現場を公開

H26夏オープン



カマラサウルス
全身骨格の展示(H25)

3年連続50万人超の入館者 **H25は70万人到達の勢い**



※福井県集計

関東・甲信越から約5万人が来館

体験型ツアーも実施

- ・親子向け、子供向け滞在型ツアー
- ・関西・中京からの直行バスツアー
- ・合計42回、1,600人を募集

世界最大の旅行口コミサイト
トリップアドバイザー
「行ってよかった博物館」
ランキング第3位

※2011年